

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム新栄

目標達成計画

作成日: 平成 30年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員によって非常災害時の対応の把握に差がある。全職員への周知が課題である。	全職員が災害時、適切な対応がとれるよう周知徹底する。	災害時のマニュアルをすぐ手にとれる場所に置く(フロア内)こととする。防災訓練実施だけでなく災害対策担当を決め周知に努めていく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議において案内は行うもご家族の参加が実現できていない。	運営推進会議にご家族が参加できるようにする。	お便りにて運営推進会議の案内を行っていたが、面会時にも個別に参加依頼を行っていく。	12ヶ月
3	33	入居者が重度化して医療依存度が高くなっている。病状悪化により入院対応が多かったが今後は看取りの希望が予想されるため看取り対応の体制作りが課題。	訪問看護の事業所と連携をとり看取りが行える体制を整える。	法人内の訪問看護ステーションと連携をとり看取りの体制作りを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。